

「全国企業短期経済観測調査」(短観) 調査表-日本銀行

・本調査は「統計法」(平成19年法律第53号)に基づいて、日本銀行が行う統計調査です。
 ・同法第3条第4項の規定により、ご回答内容については、その秘密を保護します。
 ・同法第40条第1項の規定により、ご回答内容については、同法に特別の定めがある場合を除いて、統計調査の目的(全国の企業動向を的確に把握し、金融政策の適切な運営に資すること)以外に使用することはありません。

(調査表FAX送信先)
 (03) 5255-7325

調査回	調査年	調査月	企業番号	業種番号	企区	店	規模	母規	階層
	(1) ~ (4)	(5) (6)	(18) ~ (3)						

(CPの発行環境)
 資本金10億円以上の大企業のみご回答下さい。
 ●大企業(「規模」欄に「1」と記載されている先)のうち、過去2年間にCP残高がある場合、または、現在CP発行を検討している場合は、最近のご判断を1・2・3のうちから1つ選び、その番号を回答欄にご記入ください。
 ●上記以外の場合は、「9」(該当なし)をご記入ください。

1. 判断項目

調査項目	(1) 貴社の業況		(2) 貴業界の国内での製商品・海外での製商品・海外での製商品需給		(3) 貴業界の製商品の供給		(4) 貴社の製商品の在庫水準		(5) 貴業界製商品の流通在庫水準		(6) 貴社の生産・営業用設備		(7) 貴社の雇用人員		(8) 貴社の資金繰り		(9) 金融機関の貸出態度		(10) ※借入金利水準		(11) CPの発行環境		(12) ※貴社の販売価格		(13) ※貴社の仕入価格	
	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(7)	(8)	(9)	(12)	(13)	(19)	(14)	(15)													
回答区分	1. 良い 2. 3は良いない 3. 悪い	1. 需要超過 2. ほぼ均衡 3. 供給超過	1. 需要超過 2. ほぼ均衡 3. 供給超過	1. 過大~やや多め 2. 適正 3. やや少なめ~不足	1. 過剰 2. 適正 3. 不足	1. 過剰 2. 適正 3. 不足	1. 楽である 2. さほど苦しくない 3. 厳しい	1. 緩い 2. さほど厳しくない 3. 厳しい	1. 上昇 2. 変わらない 3. 低下	1. 上昇 2. さほど厳しくない 3. 厳しい	1. 上昇 2. 落ち 3. 下落	1. 上昇 2. 落ち 3. 下落														
回答欄	(19) (21)	(23) (25)	(27) (29)	(31)	(35)	(39) (41)	(43) (45)	(47)	(51)	(55) (57)	(59)	(63) (65)	(67) (69)													
回答欄	600																									

各項目の最近(調査表記入時点)と先行き(次回調査時期(3か月後))のご判断を、1・2・3のうちから1つ選び、その番号を回答欄にご記入ください。なお、季節変動がある場合は季節変動要因を除いた実勢ベースでのご判断ください(該当がない場合は「9」をご記入ください)。

●太枠内は前回回答通りで修正がない場合も、お手数ですがご記入をお願い致します。
 ●年度計画については概数(現時点での貴社内の目標や感触を大まかに数値化したもの種)でも結構です。なお、お手数ですが太枠内の全ての欄へのご記入をお願い致します。
 ●金額については、百万円単位(単位未満の場合は四捨五入)でご記入ください。

●消費税など制度の変更の影響を除いてご回答ください。

2. 年度計画

調査項目	期間	コード番号	年度		年度		年度		日本銀行記入欄
			上期(4~9月)	下期(10~3月)	上期(4~9月)	下期(10~3月)	上期(4~9月)	下期(10~3月)	
売上高		102	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
うち輸出		104							
輸出に際しての為替レート(円/ドル)		105							
営業利益		305							
経常利益		308							
当期純利益(税引き後)		309							
設備投資額(有形固定資産新規計上ベース)		109							
うち土地投資額		108							
ソフトウェア投資額(無形固定資産新規計上ベース)		112							
研究開発投資額		117							

4. 新卒者採用状況

調査項目	期間	コード番号	年度		年度		日本銀行記入欄
			入社実績	入社予測	入社予測		
新卒採用者数<人>		401					

秘 貴社控

(企業番号)

様

3. 物価見通し

(1) 貴社の主要製商品・主要サービスの販売価格の見通し
 貴社の主要製商品の国内向け販売価格または主要サービスの国内向け提供価格に関して、現在の水準と比べた1年後、3年後、5年後の価格の見通しに最も近いものを、以下の選択肢(1~10)の中から選んで太枠内にご記入ください。

時点	コード	回答欄	1. 現在の水準と比べ、+20%程度以上 (+17.5%以上)	2. 現在の水準と比べ、+15%程度 (+12.5%~+17.4%)	3. 現在の水準と比べ、+10%程度 (+7.5%~+12.4%)	4. 現在の水準と比べ、+5%程度 (+2.5%~+7.4%)	5. 現在の水準と比べ、0%程度 (-2.5%~+2.4%)	6. 現在の水準と比べ、-5%程度 (-7.5%~-2.6%)	7. 現在の水準と比べ、-10%程度 (-12.5%~-7.6%)	8. 現在の水準と比べ、-15%程度 (-17.5%~-12.6%)	9. 現在の水準と比べ、-20%程度以下 (-17.6%以下)	10. 分からない
1年後	011											
3年後	012											
5年後	014											

(2) 物価全般の見通し(前年比:それぞれの時点の1年前と比べた変化)
 物価全般(消費者物価指数をイメージしてください)の前年比に関して、1年後、3年後、5年後はそれぞれ何%になると考えますか。貴社のイメージに最も近いものを、以下の選択肢(1~10)の中から選んで太枠内にご記入ください。なお、「イメージを持っていない」場合には、該当する理由を選択肢(11~13)の中から選んで太枠内にご記入ください。

時点	コード	回答欄	1. 前年比 +6%程度以上 (+5.5%以上)	2. 前年比 +5%程度 (+4.5%~+5.4%)	3. 前年比 +4%程度 (+3.5%~+4.4%)	4. 前年比 +3%程度 (+2.5%~+3.4%)	5. 前年比 +2%程度 (+1.5%~+2.4%)	6. 前年比 +1%程度 (+0.5%~+1.4%)	7. 前年比 0%程度 (-0.5%~+0.4%)	8. 前年比 -1%程度 (-1.5%~-0.6%)	9. 前年比 -2%程度 (-2.5%~-1.6%)	10. 前年比 -3%程度以下 (-2.6%以下)	11. 先行きについては不確実性が大きいから	12. 変動したとしても経営にほとんど影響がないため意識していないから	13. その他
1年後(前年比)	016														
3年後(前年比)	017														
5年後(前年比)	018														

参考情報 変更がある場合のみご記入ください。

決算期	コード	月	資本金	コード	百万円	雇用者数	コード	人	日本銀行記入欄
	910		900	019					S T

(備考)
 ご回答数について大きな変動等がありましたら、その背景(需給環境の急激な変化、合併、分社、持株会社の設立、経理方法の変更など)についてお教えください。なお、貴社の年度計画の対象時期が記載と異なる場合も本欄にご記入ください。

(システム入力欄)

(審査店) (企業番号)